

◆写真①～③： 「ヤマカガシ」

- ◇「ダイヤモンドトレール」の二上山付近で、「ヒキガエル」を飲み込む「ヤマカガシ」の写真撮影に成功しました。
- ◇飲み込まれている「ヒキガエル」につきましては、「ニホンヒキガエル」なのか「アズマヒキガエル」なのかは同定できませんでした。
- ◇「ヤマカガシ」は、顎腺から毒液を出す（この液が目に入ると危険です）のですが、奥歯にも毒牙があるのです。
しかしこちらは深く噛まれないと毒の注入が行われなため、爬虫類研究者の間でも“毒蛇”であることはあまり認識されていなかったそうです。

- ◇一方、「ヒキガエル」は、目の後ろ辺りに耳線（じせん）という毒腺があり、追い詰められると最後の最後に毒液を出すようですが、それも滲み出るといふくらいのものだそうです。
- ◇と言うことは…
「ヤマカガシ」は毒を持つカエルを捕食していることになるのですが、結構「ヒキガエル」を好んで食べているようです…(◁_▷)
- ◇なんと、「ヤマカガシ」の顎腺から分泌される毒は、「ヒキガエル」の毒を貯蓄して利用しているのだそうです…
（では、ヒキガエルの生息していない地域のヤマカガシはどうなるのか、という疑問が生じるのですが、今回はそこまでは調べていません。あしからずご了承を…）





